

CDの世界を開いたプレーヤー 一号機

登録番号	第 00270 号		
登録年月日	令和元年9月10日	登録区分	第一種

名称 (型式等)	世界初コンパクトディスクプレーヤー CDP-101
所在地	東京都港区
	ソニー株式会社
所有者 (管理者)	ソニー株式会社
製作者(社)	ソニー株式会社
製作年	1982年
初出年	1982年
選定理由	世界初のコンパクトディスクプレーヤー。直径12センチの非接触光方式を採用し、デジタル信号で記録されたCDは、優れた音質と従来のLPレコードに比べて画期的な操作性を実現し、デジタルオーディオの幕開けを告げた。CDシステムは、日本のソニーがオランダのフィリップスと共同で開発し、国際標準化へと導いた。半導体レーザー、精密光学ピックアップ、エラー訂正アルゴリズム、信号処理用LSIなど最先端の技術が結集されて製品化され、その後の各種基幹部品の発展の基礎を確立した。またトレー式ローディングなど後継機種デザインの模範にもなった。その後オーディオ機器に留まらず、世界標準としてCD-ROM、CD-Rなど巨大なビジネス発展の端緒となった機種として重要である。
登録基準	ーイー（科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの） ーロー（国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの）

公開・非公開	公開
写真	
その他参考となるべき事項	